







帯広大谷短期大学

OBIHIRO OTANI JUNIOR COLLEGE

2014 (平成26) 年度

介護福祉士実務者研修 通信科

募集要項

-  介護福祉士養成校として 25 年の歴史をもつ帯広大谷短期大学！
-  経験・知識の豊富な先生が親身にサポートしてくれる！
-  通信だから働いている方も受講しやすい！
-  受講期間は 7 カ月！



2015(平成27)年度(2016(平成28)年1月)から
介護福祉士の受験資格が大幅に変更となりました。
実務経験3年以上 + 実務者研修の受講、修了した方に
受験資格が付与されることとなりました。
修了者は実技試験が免除されます。




受講・お申し込みに関
する
お問い合わせは


帯広大谷短期大学

事務局 総務課総務係内

介護福祉士実務者研修通信科 (担当：鈴木)

〒080-0335 北海道河東郡音更町希望が丘3番地3

 0155-42-4444 (代) 0155-42-4424 (DI 70)

 0120-892-002

 <http://www.oojc.ac.jp>

 E-mail inform@oojc.ac.jp

介護福祉士実務者研修通信科の受講について

受講資格・対象 次のいずれかに該当し、介護福祉士国家試験を受験しようとする方。

- ・高等学校を卒業した方。
- ・通常の課程による12年の学校教育を修了した方。
- ・文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した方、および合格見込みであることが証明される方。
- ・その他、学校教育法施行規則第69条により高等学校卒業と同等以上の学力があると認められる方、及び入学までにこれに該当する見込みのある方。
- ・介護職員としての従事実績が3年以上ある方。
- ・介護福祉士国家試験までに、従事実績が3年以上の見込みのある方。
- ・これから介護職員として従事しようとしている方。

会場

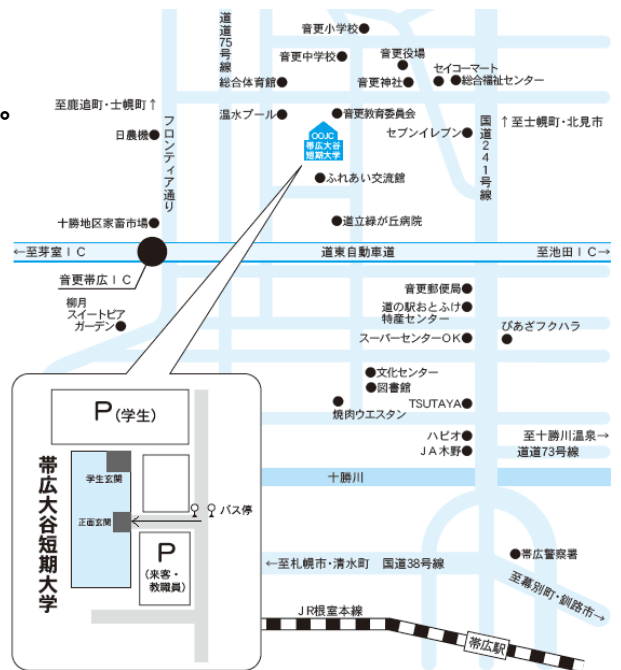
帯広大谷短期大学

〒080-0335 北海道河東郡音更町希望が丘3番地3

TEL 0155-42-4444(代) FAX 0155-42-4499

交通アクセス

- ・JR 帯広駅からの距離…約10Km
- ・JR 帯広駅からバスで短大に来るには…
JR 帯広駅前横のバスターミナルから拓殖バス乗車
緑陽台経由音更高校行、駒場行、雄飛が丘団地行)
約25分「大谷短大前」下車



開講期間 2014(平成26)年6月1日～12月末日(7か月)

受講科目と時間数

保有資格別の免除科目と時間数

受講科目は、保有資格によって読み替えることができます。免除される科目は右表の○印になります。

※予習と復習に学習時間と同様の時間を要します。

<学習のしくみ>

自宅学習、面接授業を組み合わせでの研修です。自宅学習の時間を各自の就業時間に応じて取り組むことができます。

<面接授業について> (介護過程Ⅲ・医療的ケア)

帯広大谷短期大学にて行います。

介護過程Ⅲ

8月上旬6日間(日・月・火曜日)予定

医療的ケア

8月下旬平日夜間5日間、

または土・日曜日2日間予定



| 科目 | 学習時間数※ | 介護職員 初任者研修 | 訪問介護員研修 | | | 介護職員 基礎研修 | その他 全国研修 |
|-----------------|-------------------|---------------|---------|-----|-----|--------------|--------------|
| | | | 1級 | 2級 | 3級 | | |
| 人間の尊厳と自立 | 5 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 社会の理解Ⅰ | 5 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 社会の理解Ⅱ | 30 | | ○ | | | ○ | |
| 介護の基本Ⅰ | 10 | ○ | ○ | ○ | | ○ | |
| 介護の基本Ⅱ | 20 | | ○ | ○ | | ○ | |
| コミュニケーション技術 | 20 | | ○ | | | ○ | |
| 生活支援技術Ⅰ | 20 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 生活支援技術Ⅱ | 30 | ○ | ○ | ○ | | ○ | |
| 介護過程Ⅰ | 20 | ○ | ○ | ○ | | ○ | |
| 介護過程Ⅱ | 25 | | ○ | | | ○ | |
| 介護過程Ⅲ(面接授業45時間) | 45 | | | | | ○ | |
| 発達と老化の理解Ⅰ | 10 | | ○ | | | ○ | |
| 発達と老化の理解Ⅱ | 20 | | ○ | | | ○ | |
| 認知症の理解Ⅰ | 10 | ○ | ○ | | | ○ | 認知症 実践者研修 |
| 認知症の理解Ⅱ | 20 | | ○ | | | ○ | 認知症 実践者研修 |
| 障害の理解Ⅰ | 10 | ○ | ○ | | | ○ | |
| 障害の理解Ⅱ | 20 | | ○ | | | ○ | |
| こころとからだのしくみⅠ | 20 | ○ | ○ | ○ | | ○ | |
| こころとからだのしくみⅡ | 60 | | ○ | | | ○ | |
| 医療的ケア | 50+面接授業 10時間程度 | | | | | | 喀痰吸引等 研修 |
| 実務者研修受講時間数 | 450 | 320 | 95 | 320 | 420 | 50 | |

 **定 員** 50名

 **選考方法・選考日程** 申込書類の提出→書類審査→受講許可

| 申込期間 | 選考日 | 受講許可通知 | 受講手続締切 |
|---------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 2014(平成26)年 2月1日～4月20日 | 2014(平成26)年 4月25日 | 2014(平成26)年 4月26日 | 2014(平成26)年 5月20日 |



 **選考料** 10,000円

 **受講料**

| 区 分 | 受講料 |
|-----------------------------|----------|
| ・保有資格のない者 (受講時間:450時間) | 200,000円 |
| ・訪問介護職員研修3級修了者 (受講時間:420時間) | |
| ・介護職員初任者研修修了者 (受講時間:320時間) | 150,000円 |
| ・訪問介護職員研修2級修了者 (受講時間:320時間) | |
| ・訪問介護職員研修1級修了者 (受講時間:95時間) | 80,000円 |
| ・介護職員基礎研修修了者 (受講時間:50時間) | 50,000円 |

テキストについては履修科目に応じて選択し、別途購入する必要があります。使用テキスト「中央法規 新・介護福祉士養成講座」

 **申込方法**

・募集要項の受講資格・対象をご確認のうえ、所定の申込書類を郵送又は
帯広大谷短期大学 事務局総務課 2階窓口までご提出ください。

〔受付窓口〕平日は8:30～17:30まで。第1・第3・第5土曜日は8:30～12:30まで。

(祝日、日曜日、第2・第4土曜日はお休みです。)



 **申込書類**

・受講申込書(志願票・職務経歴書・志願理由書)・・・様式1

・卒業証明書・・・最終卒業学校のもの

・選考料納付票・・・様式2(「振込用紙の選考料振込受付証明書」を必ず貼付してください)

・振込用紙(選考料振込済通知書・選考料振込依頼兼入金伝票・選考料振込領収書・選考料振込受付証明書・・・4枚綴り)

・返信用封筒・・・必要な金額の切手を添付のこと

 **申込書類を記入する際の注意事項**

| 書 類 提 出 | 注 意 事 項 |
|------------------------------|--|
| 受講申込書(志願票・職務経歴書・志願理由書)・・・様式1 | ○本学所定の用紙(様式1)を使用してください。 ・現住所欄は、受講可否通知の送付や本学からの連絡が確実にできる住所を記入してください。 |
| 卒業証明書 | ・最終卒業学校の卒業証明書を提出してください。 |
| 選考料納付票・・・様式2 | 選考料 10,000円 ○本学所定の用紙(様式2)を使用してください。 ・選考料を本学所定の振込用紙により、最寄りの金融機関(郵便局は不可)にて、振り込んでください。 ・振込用紙の「選考料振込受付証明書」を選考料納付票(様式2)の指定の欄に貼付してください。 ・振込用紙の選考料の領収は、「選考料振込受付領収書」をもって領収書に代えます。振込済の選考料は、いかなる理由があっても返還しません。 |
| 返信用封筒 | ・必要な金額の切手を貼付してください。 ・住所・氏名を記入してください。 |

2015（平成27）年度（2016（平成28）年1月）以降の資格取得の流れと資格取得ルート

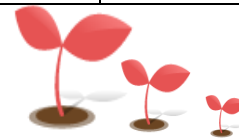


※1 2015（平成27）年度から追加された項目。（ただし、厚生労働省が1年間先送りを検討中。）
 ※2 本学の介護福祉士実務者研修通信科はこれに該当します。

実務者研修で介護福祉士養成施設（2年以上の養成課程）における到達目標と同等の水準を修得
 幅広い利用者に対する基本的な介護提供能力の修得、今後の制度改正や新たな課題・技術・知見を自ら把握できる能力の獲得を到達目標としています。さらに、医療的ケアに関する知識及び技術についても修得できます。

| | | |
|---|--|--|
| <p>介護福祉士国家試験の「実技試験」免除！</p> | <p>「たん吸引」や「経管栄養」の基本的な知識・技術を修得できます！</p> | <p>「サービス提供責任者」になれる！</p> |
| 介護福祉士実務者研修を修了することで、介護福祉士国家試験の実技試験が免除されます。 | 「医療的ケア」の科目において、「たん吸引」や「経管栄養」についての基礎知識を学びます。 実務者研修の修了後に別途、実地研修※を経て、「たん吸引」や「経管栄養」を行えるようになります。 <small>※本学では実地研修は行っておりません。</small> | サービス提供責任者になるためには、実務者研修の修了や介護福祉士の資格等が必要になります。 |

Q&A



- Q: 実務者研修は、実務経験が無いと受講できませんか？
 A: 受講対象者に特段の制限は設けていないため、受講は可能です。
 （実務経験を積む前に実務者研修を受講できます。また、実務者研修の受講と並行して実務経験を積むことも可能です。）
- Q: 実務者研修修了者は、修了証をもって、訪問介護員として従事することは可能ですか？
 A: 可能です。
 実務者研修の修了証をもって訪問介護に従事する際の証明書としても差し支えないとされています。
 （詳細は、老健局振興課長通知「介護員養成研修の取扱細則について」「介護員養成研修の取扱細則について（介護職員初任者研修関係）」を参照してください。）

担当教員からのコメント



介護福祉士養成校として25年の歴史をもつ帯広大谷短期大学の実務者研修は、介護が必要な方ひとりひとりに応じた支援が提供できるよう、わかりやすく実力のつくカリキュラムで構成しています。

働いている方も受講しやすい環境のなかで、単に資格を取得するためだけでなく、資格取得のための取り組みを通して、「その人らしい生活」を支える専門職としての能力を高めることができるよう、様々な側面からサポートさせていただきます。

社会福祉科教員 佐藤千恵准教授